

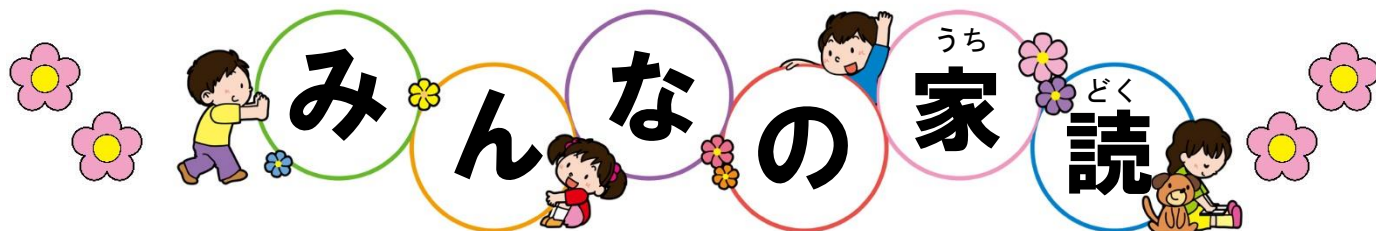


としょかん 図書館だより

令和2年9月号

しろやまちゅうおうしょうがっこう
城山中央小学校

おうちの人と読みましょう



夏休みには家読にご協力いただき、ありがとうございました。家族で読書に親しむ機会を大切にしてください。今月号では、保護者の皆様にご記入いただいた感想の一部を紹介します。



『一さつのおくりもの』 森山 京／作、鴨下 潤／絵

息子のおすすめの本ということで、この本を選び、家族皆で読みました。1番大切なものをあげることは難しいけれど、相手を思う優しさに、家族一同、心が温まりました。(1年1組 父・母)



『小さいが消えた日』 ステファノフォンロー／作

読み終わった後、父親や姉に本を見せながらどんな話を聞いたのか感想も交えながら嬉しそうに話しているのを見て、一緒に本を読んで良かったなと思いました。(2年1組 母)



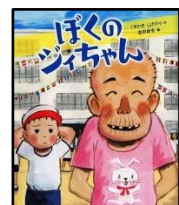
『だから走るんだ』 中川洋典／作

マラソンランナーも応援する人も、よせなみフルマラソンを成功させようとみんなが一生懸命になって走って応援して、がんばったなと思いました。(3年2組 母)



『もうぬげない』 ヨシタケシンスケ／作

1ページ、1ページでいねいに読んでいましたね。ページごとで笑ったり、考えたりしながら、最後のページを読み終わったときはなにを感じていたのかな？読書好きになってください。(4年2組 父)



『ぼくのジちゃん』 くすのきしげのり／文、吉田 尚令／絵

カッコわるいと思っていたおじいちゃんが、オリンピックのこうほせんしゅだったなんてびっくりだったね！右足出したら、左足を出す。それをだれよりも早く！！何事にも基本が大切ってことだよ！コツコツ！！(5年2組 母)



『若おかみは小学生！』 令丈ヒロ子／作、垂沙美／絵

両親を事故でなくしてしまう主人公の女の子ですが、周りの人に沢山支えられて生きていく姿は色々と考えさせられました。皆、一人じゃないから頑張れるね。(5年1組 母)



『涙のウェディングシュークリーム』 工藤純子／文

お菓子の事だけでなく、人とのつながりや人の想いなども感じて、じーんとしました。今度一緒にシュークリーム焼こうね！(6年1組 母)



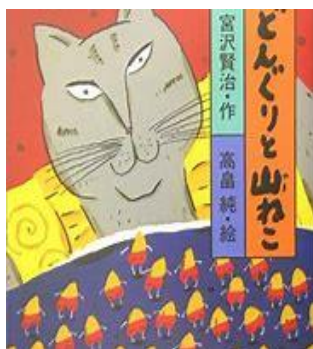
ぎんが たび どうわしじん
銀河を旅したイーハトーブの童話詩人

みやざわけんじ 宮沢賢治



宮沢賢治は、人間も動物も自然も一つになって、心を通い合わせることのできる【まことの幸せ】がどこかにありはしないかと、生涯をかけて探し、数多くの作品を残しました。動物たちの命を大切にしない人間を、はらはらときどきする不思議さでこらしめたのが、5年生の教科書に登場する「注文の多い料理店」です。農民の幸せを願い続けた詩「雨ニモマケズ」、孤独なジョバンニが宇宙を旅する物語「銀河鉄道の夜」など、子どもから大人まで、長い間読み継がれてきた作品が数多くあります。

せかい あい みやざわけんじ さくひん ～世界で愛される宮沢賢治の作品～



もっと詳しく宮沢賢治のことを知りたいと思っ
た人には、マンガで読みやすいこちらの
本がおすすめです☆
ぜひ図書室に借りに来てください♪

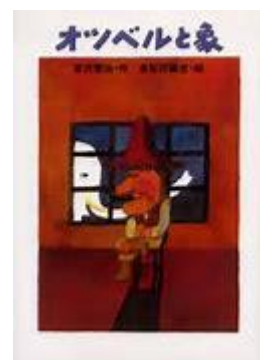
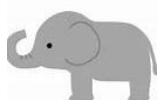


おはなし給食 テーマ「宮沢賢治の誕生日」

オムレツ



8月27日(木)は、日本を代表する童話作家宮沢賢治の誕生日ということで、図書委員のM・Sさんが「オツベルと象」を紹介してくれました。この日の給食の献立は、「オムレツ」でした。作品中では、オツベルが「ぞうきんほどあるオムレツの、ほくほくしたの」を食べています。



「オツベルと象」

みやざわけんじ ぶん はせがわよしふみ え
宮沢賢治/文 長谷川義史/絵
いわききよてん
岩崎書店